

東京丸の内ロータリークラブ

2022年5月11日 第99回 議事録



Club of Tokyo Marunouchi

T O K Y O
MARUNOUCHI
ROTARY CLUB



Now...let's act!
「さあ、行動しよう！」

2021-22年度 クラブ会長
Club President
古山真紀子 Koyama Makiko

“SERVE TO CHANGE LIVES”

2021-22 国際ロータリー会長
ジェカール・メータ
2021-22 RI 第 2580 地区ガバナー
若林 英博



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

【式次第】 12:00～13:00

1. 司会進行 清水 ミッシェル 会員
 2. 開会点鐘 古山 真紀子 会長
 3. ロータリーソング 「奉仕の理想」
 4. ゲスト・ビジター紹介 尾崎 由比子 会員
- 東京国際ロータリー第 2580 地区北分区幹事
東京後楽RC会長エレクト 志熊 昌宏 様
- 米山奨学生 アディラ・ヤクフさん
- ㈱プルデンシャル生命 伊藤孝雄 様
5. ニコニコ報告 光行 順子 会員

北分区幹事 東京後楽RC会長エレクト 志熊 昌宏様：
本日は卓話の機会をいただきありがとうございます。一生懸命わかりやすくお話しさせていただきます。

東京丸の内RC会長 古山真紀子会員：
伊藤様、本日はようこそお越しくださいました。
志熊様卓話楽しみにしております。

東京丸の内ロータリークラブ創立会長 尾崎会員：
志熊様、本日はどうぞよろしくお願ひいたします。
伊藤さんお越しいただきありがとうございます。

6. 会長挨拶 古山 真紀子 会長

・前回から三週間ぶり、久しぶりの例会。志熊先生もお久しぶりです。本日伊藤孝雄様がゲストとしていらっしやってくださいました。ありがとうございます。

・皆様、連休はいかがお過ごしでしたか。
ちなみに私は、5月1日は日帰りで軽井沢に娘と訪問。残念ながら雨でしたが、ちょうど志熊さんとすれ違いだったようで、二人ともお蕎麦を食べていた。
5月2日に友達と二人で大人のディズニーランドに行った。今も人数制限してるが、ゴールデンウィークで人が入っていて、最新のアトラクションは200分待ち。
午後は雨だった。
5月3日、伊豆公園に行き、この日はやっと晴れた。かなり外国人が増えているという感想を持った。

・丸の内でも、新しく世話クラブ引き受け、米山奨学生のアディラさんが本日いらしている。
高橋さんがカウンセラーとなる。よろしくお願ひします。
アディラさん高橋さんには、後ほど簡単にご挨拶をいただく。

・先日、私も一足早くお会いする機会があった。
アディラさんは現在、順天堂大学大学院の医学生で勉強一筋とのこと。中国の新疆ウイグル出身。イスラム教徒の方には、私たちはなかなか接する機会がないので、是非わたしたちにも知って欲しいことがあったら、色々教えてください。

・ロータリーのことも、いつまで経ってもわかるようでわからないことが多い。
今日はいろいろな疑問に答えていただくにぴったりの方に卓話をお願いした。
既に紹介している本日の卓話者、後楽RCの志熊会長エレクトです。

12月の夜例会にもお越し頂き、そのお名前について説明を頂いた。
本日は「今更聞けないロータリー」というタイトル。
色々質疑応答を交えてお話しください。
こんなこと今更聞くのは恥ずかしい・・・とは思わずに是非質問をしてください。
結構、ベテラン会員でも意外と知らないことも多くあるもの。よろしくお願ひします。

7. 米山奨学金授与 高橋 由珠 会員

8. 米山奨学生 アディラ・ヤクフさんご挨拶

アディラさん：
皆さんはじめまして。アディラ・ヤクフと申します。

今、順天堂大学院麻酔科で研究を行っている。

研究内容は妊婦に麻酔の針を刺すのが難しい中、その効果を高める為の研究。
これから一年間よろしくお願ひいたします。

古山会長：アディラさんに作成した名刺をお渡しします。

高橋会員：
米山カウンセラーを今年初めて務めさせていただきます。皆様に助けていただきながら携わりたい。アディラさんにとっても、米山奨学生になったこと、ロータリークラブと関わりを持ったことが素晴らしい経験になるようにサポートさせていただきます。

何かあったら、いつでも話しかけていただきたい。
コンパクトな人数なので、クラブぐるみの暖かさを感じて接していただけるといいなと思う。
よろしくお願いします。

9. 「ロータリーの友」を読んで 吉田 秀樹 会員

- 今日はたくさん人がいてとても嬉しい。
来期は倍の会員を目指して頑張りたい。
- 今日お話ししたいのは、夢をつなぐ。皆さんご存知だと思いますが、3月号に記載のある国際ロータリー世界本部の会長エレクト、ジェニファー・ジョーンズ氏の言葉。
大変りしい方だと思う。
- インタビュー記事を読んで、私自身、ぴったりの時期に会長を務めさせていただくこととなったと感じている。
ジェニファーさんもメディアの仕事されていて、私にも共感できることが多いと考えている。
「夢をつなぐ」私の会社のエンジェルオーク社の理念も同じ。
各所に新しい近い考えが多く見られると感じた。

•19頁、ジェニファー氏の言葉で「経験のレンズを通して名案が得られることもあれば、経験が浅い人から名案が出されることだってあります。」と話している。
これは重要なメッセージだと思った。
ロータリーに若い会員が増えれば、新鮮な視点が得られて、常に進化し希望も生まれるという。

•良いアイデアをロータリーアクトクラブに提案すると、数日のうちに、そのアイデアが実行へと移される。例えば、ソーシャルメディア上での活動を始めるとか、呼びかけに答えるのはロータリーアクトのメンバーだという。
また一方、同じアイデアをロータリークラブに提案したらどうなるか？
「委員会を設置して話し合い。何度も何度も話し合い、ただこれらの慎重なやり方が悪い訳ではない。しかし形式的なやり方だと物事が前に進まなくて、イライラさせられることもある」という。

•「若い世代に目を向けることで新しい機会が生まれる。世代が違ふと方法が違ふ、若い人たちから本当に学ぶべきことだ」という風に語っている。
私もRLIに参加したが、実際にロータリーアクトの皆さんと議論する機会があり、若い世代の力を実感している。
丸の内でも新しい考え方を取り入れるのにはいい機会。
幅広い年代層、いろいろなジャンルの方を仲間に入れて、新しいことを取り入れていきたいと思う。

•またジェニファー氏は「若々しい発想を持った86歳に出会ったことありますか？」という問いかけをしている。
この「若々しい」の意味は、まだまだ経験したことのない新しいことをやってみるといふ、発想と行動力のことを言いたかったのではないかと思う。
我々の丸の内が目指しているものと同じ事だと思う。
我々はまだ目を向けられていないところ、注目されていないところに目を配って奉仕活動を行なっていく考えを持っている。

この発想を実現に繋げていくことで、新しいアプローチや発想の内容が根づいていき、継続的で活発な活動に繋がっていくと思う。
丸の内として非常にやりやすいスローガンだと思っている。

•先月これらを発表する予定だったが、今回4月号で興味を持った記事は「女性会員に聞きました」というアンケート結果。
後半にはハラスメントのアンケートも記載されている。
私は女性を男性と置き換えて読んでみた。

回答者の中に、「このようなアンケートを女性に取ることで自分にも偏見が生じているように感じる。男性にもとる必要があるのでは」との記載があった。
この記事が非常に光って見えた。

•3月号でジェニファー氏が今後知りたいことについて「ジェンダーではなくコミュニケーションの分野」と伝えている。
これまでのロータリーとこれからのロータリーについて、「新しく変化を持ったとしても、その価値観は変わらない。物事の見方を少し変えることはできますよね。」というメッセージを伝えている。

•私自身、ロータリーはこのままでいいのか・・・という風にモヤモヤしていた。
入会から2年経っていないが、今まで考えてもみなかったアイデアにも気づかなければいけないと感じた。

•今回ジェニファー氏の記事を読んで感じるのは、「女性的なアイデア」との感想。
日本の女性の会員数は7%、でも我々丸の内は80%が女性会員が占めている。
ぜひこの特徴を活かした視点で、取り組み方を変えていくことに賛同して行きたい。
3月4月号に記載されていた内容から発表させていただいた。
ありがとうございます。

10. 委員会活動報告 寿原 裕美子 会員 会員増強委員会

•会員増強委員会からの報告兼お願いですが、次回ゲスト・ウェルカムデーを行います。現在、すごくコンパクトなクラブだが、会員が増強すればクラブ自体が盛り上がる。
先程、吉田会長エレクトから、次年度は会員を倍にするのお話、是非目指して行きたいと思う。
ゲスト・ウェルカムデーはもちろんのこと、それ以外の例会でもゲストの方に来ていただきたい。
皆さん周りのご友人、直接でなくともさらにその先の方々にも、「一度来てみませんか」というお声がけをしていただくと幸いです。

11. ワークショップに参加して 尾崎 由比子 創立会長

•昨日、若林ガバナーが行なっている複数のワークショップの中で、「女性の活躍とロータリーの未来」というテーマの会に参加してきた。
2840地区のPastガバナーの山田邦子様と2790地区のPastガバナー漆原節子さん。

漆原節子さんは今度の地区大会でお話される方。
この二人と皆さんご存知の谷一さんがコーディネーターになっ
てお話をされた。
興味深いことがいくつかあったので、シェアしたいと思う。

・漆原さんはロータリー歴が浅い 10 年未満で選ばれた方。
お二人ともロータリーのガバナーをやったことで、何が良かったか・・・に関して、
「国内外に出会いが非常に広がった。」とお話をされていた。

・先ほど吉田会長からもお話があったが、女性の会員数が世界中で最も少ないのはモナコ・・・1 人もいない。
2 位がバン島、3 位が日本、これは問題視されるべきこと。日本は 7.27%、インドで 15.27%、アメリカは 34%、カナダは 36%という数値。
女性にこれからどんどん入っていただきたいと思う。

・そんな中で面白かったのが、山田パストガバナーのお話された「女性がリーダーとなるための 6 ヶ条」
これを心に入れてガバナーを受けたとのこと。
内容をご紹介します。

1. ユーモアのセンスを持つこと。
 2. 努力、まずやる気を起こすこと。
 3. 壁を打ち破ること、ひるんではならない。
 4. この道は楽ではないということに覚悟すること。
 5. スタミナを持つこと。諦めずに根気よくやるために。
 6. 席が空いたら手を上げること。まず地位を獲得しなさい。考えるのは後からでもよい。
- との教え。
以上になります。

12. 卓話

北分区幹事 東京後楽 RC 会長エレクト

志熊 昌宏 様 「今更聞けないロータリー」

古山会長

・最初にイントロダクションとして、私自身のお話をさせていただく。
何度もお話させて頂いているように、入会した頃は私自身クラブの中で一、二を競う出席率の悪さを誇る会員だった。
たまに開催される地区主催のワークショップが 15 時からということにも、その時間からじゃ現役世代は出席できないでしょう・・・と怒りを感じたこともあった。

・それから 2 年後、会長を務めることが決まり、心を入れ替えて積極的にワークショップやイベントに参加しようと思った。
そのとたんにコロナになってしまい、すべてリアルでの開催がなくなってしまった。

・対面で会うことが出来なくなって初めて、リアルの会合の重要性に気づかされた。
米山奨学生のお世話をしたり、山口君のような交換留学生の方のお世話をしたりと国際貢献・平和・国際交流等の取組に熱い思いを持っている方達とリアルに会うことは大切なことだと改めて思った。
会長になってからは、ポリオ撲滅を呼びかけるビデオに出たり、清掃活動、献血活動にも積極的に参加をさせて頂いた。

・2580 地区には 70 クラブあり、そのような取り組みも、多くのクラブの参加のもとで行なうことで大きなことが出来ると改めて感じた。
今日のプログラムの最後に地区組織の表を付けている。
右下にはガバナー補佐、次年度当クラブの尾崎会員が重責を担う。後の方に奉仕プロジェクトグループの記載がある。
皆様にはこういった地区の活動にも積極的に参加して頂ければ、もっと人脈にも広がりを持って頂けると考えている。
こういったことも視野に入れて活動頂きたい。

・今日の卓話者の志熊さんは、クラブ内でも地区でも様々な活動をされている。
ロータリーに関するいろいろな質問に答えていただけると思う。

まず最初に志熊さんに伺いたいのは、なぜロータリークラブに入会したのか？
その経緯からよろしく願いいたします。

志熊氏：

・今、ご紹介いただいた志熊です。
私がロータリークラブに入った動機は、一言で言うと「恩返し」。
小学校 2 年から、高校生までずっとボーイスカウトに入っていた。
ボーイスカウトの活動というのは、ロータリークラブや、ライオンズクラブの皆様から、いろいろご支援をいただいている。
例えばテントの購入や、衛生の備品を買っていただきたいということをしている。
その恩返しをしたいと思った。
もう一回ボーイスカウトとの関係性を持ちたいとも思っていて、ようやくその夢もかなった。

・皆さん、今手元に「ロータリーの友」5 月号の 20 ページを見ていただきたい。
次年度ガバナーエレクトの栃木さんが旗を渡している写真が掲載されている。
相手は私の出身のボーイスカウト文教第 5 団の代表。
ようやく 5 年以上かけて説得し、インターアクトクラブに加入してもらうことができた。
インターアクトクラブが何かというと、中学生・高校生を対象にした、ロータリーの奉仕を学んでもらおうというもの。

・今まで日本にはいろいろなインターアクトクラブがあるが、加入クラブは全て学校。
このようにボーイスカウト等、学校以外の組織の加入は初めて。

アメリカには教会を主体としたローターアクト・インターアクトクラブが多数あるが、日本では全くない。

今インターアクトクラブ数がどんどん減っているの、新たにこういう形でボーイスカウトに向けてインターアクトクラブの裾野を広げることは、良いことと理解していただいている。

わたしもロータリーに入って 15 年以上。

ようやく夢がかなったと非常に嬉しく思っている。

また皆様にご奉仕を交え頑張りたいと思っている。

これが、私がロータリークラブに入った一番の動機です。

古山会長：

よくロータリークラブと比較されるのがライオンズクラブ。

こちらとの違いは何があるんでしょう。

志熊氏：

・両社ともに垣根が低くなったが、2 つのクラブは基本的には同じような感じ。

ただ、もともとロータリーの考え方は「アイサーブ」。

一方ライオンズの考え方は「ウィサーブ」。

たとえば、良い例が御徒町にあるライオンズクラブの標語。

一人であのように標語を書くことはできない。

クラブメンバー20 人、30 人の力がないとできないもの。

そういう形でライオンズは「ウィサーブ」。

我々のロータリーは、私たち個人個人で行なおうということ。

・一番分かりやすい資料としてお持ちしたもの、皆さんもご存知のパナソニック・元ナショナル松下電器の創業者の松下幸之助さんの言葉。

「1970 年 1 月号のロータリーの友」に寄稿している内容

で、検索すれば、すべての文章が出てくる。

意味する内容は、「我々、職業奉仕の一番の理由というのは、税金を払うこと。企業としては税金を払わないで、全部を人件費や、研究開発費として社内で使い、キャッシュアウトを少なくすることの方が良いことと考えがち。

すると国はどうなるか？

道路・鉄道・水道等、そういうものが整備されず、しいては企業が負担をすることになる。

日本のあるべき姿のために企業の活動が制約されてしまう結果となる。

我々の職業奉仕の考え方では、みんな頑張って仕事しよう。仕事をして利益を出そう。そして税金を払おう。税金を払って国内のインフラをしっかりと整備しよう。」ということ僕もこれなんじゃないかなと感じている。

・職業奉仕に関しては、色々人が色々なことを言う、非常に内容の理解が難しい。

職業奉仕は語る物ではなく、活動するもの。

・1905 年にアメリカのシカゴでポールハリスによってロータリーは作られた。当時はアルカポネが出てきた時代で世の中が荒れていたといわれている。

この時代に、「お互いの腹を探りながら商売を行うことはやめよう。みんな真面目に商売しよう。真面目にやった後に、利益を上げて税金を払おう。」という職業奉仕の考え方が生まれた。

様々な意見がある中、ご自身が気に入ったコメントを信じていただければ良いと思う。

古山会長：

・職業奉仕の捉え方はよく分からないが、「広く社会の為に」という考え方と理解している。

・次は奉仕について。色々な奉仕活動をされていると思うが、志熊さんにとって一番印象に残っている奉仕活動とは何ですか？

ご自分がこれで変わったというようなことが、ありましたか？

志熊氏：

・米山奨学委員会の取組の中に、非常にやっていて良かったなあと感じることがあった。

私ども 2580 地区は中央線で東京を分割して、上が 2580 地区、下が 2750 地区。

最初分かれた時は同じ人数。2750 地区は京浜工業地帯があり、その後人数が増加した。

・基本的にロータリーは地区との合同事業を行なわない。例えば本来、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会それぞれが、それぞれの地区で独自の運営を行なう為、基本他クラブと一緒に行動・活動することは無い。そのような中で、私が米山委員長として始めた他地区合同事業がある。

・毎年 9 月の頭に米山奨学生と会員の皆さんと共に、三島にある米山梅吉記念館を訪問し、バーベキューをするという日帰りの旅行を行っていた。

それだけじゃ面白くないということで、当時交流した沼津柿田川ロータリークラブの方々と一緒に何かやろうということになった。

そこで始めたのが、富士山からの湧水が出てくる柿田川湧水に外来種の草が生えているということで、柿田川湧水の清掃活動。

静岡山梨地区の米山奨学生・地区委員の参加があり合同事業となった。

・当地区では初めての取組となり、今でも米山奨学生・学友・ガバナー・地区委員の参加のもと継続している。当初は合同事業に対する反対意見もあったが、「米山は他地区も含め、皆同じ方向を向いているのだから、合同事業にも価値がある。」と発言し、認めていただいた経緯がある。

9 月の第一土日は、もともと山梨静岡の諮問委員会日程として設定されていたが、それらを変更して下さり、今も引き続き合同事業として行っている。

古山会長：

・日本には 34 地区ある。せつかくそれだけあるのであればいろいろ広がりを持つてればと思う。

コロナが止んだら、地区合同での活動が増えてくれば良いなどと思う。

次の合同事業も、志熊さんにぜひ指導していただければと思う。

・ロータリーの大きな特徴がメイク・アップシステム。ほかのクラブに行くことが、例会出席数としてカウントされる。

ロータリーのバッジさえしていれば、いつでも国内外問わずどこでも、他クラブ例会に参加できる。
何か楽しみ方、良い経験はありますか？

志熊氏：

・台湾には、台北東海ロータリークラブと米山学友のクラブである湖東ロータリークラブという二つがある。
例会は全て日本語で開催される。
台北東海はロイヤル台北ホテルで行なわれ、支配人の笹谷さんもメンバー。
日本語で例会が開催されるので非常に楽しい。
日本からのメーキャップ者も多い。
私がメーキャップに行った時には佐渡島からの参加者もいた。
日本では全く出会えないクラブの方々と面識を得ることが出来る。

・あとは文化の違い。
私は一年間、カリフォルニアのデービスに住んでいた頃、デービスのクラブに行ったことがある。
こんな不真面目なクラブがあるのかと思うほどだった。
点鐘はしない、ロータリーソングは歌わない、いつの間にか皆食事をしていて、一ドル入れればワインが飲めるという状況。
当日の参加者が10数人。聞くと3年前にできたクラブで40人在籍しているとのこと。出席率は実に25%。
日本のクラブはすごく真面目だといえる。
メーキャップとして様々なクラブに行くと、私の知らないロータリーソングもある。

・全く知らないクラブ、全く知らない人達の中に入るのはハードルが高いと思う。
古山会長がおっしゃった様に、友達の居るクラブにメーキャップすれば知り合いが広がる。
せっかくバッジを付けたのだから、たくさんの方々と知り合いになって下さい。
色々良い影響を受けることが出来る。

古山会長：

・以前、丸の内と同じ規模のクラブである保谷クラブの遠藤さんがメーキャップに参加された際、フットワーク軽く2580地区全部のメイクアップをするとの意向だった。
私も、まず千代田グループの6クラブから取り組んだ。
東京のクラブに全部行く等、色々目標を持つと良いかもしれない。

・ロータリーソングは海外でも歌われるのか？

志熊さん：

・元々、ロータリーソングはアメリカから出た。
会合が喧嘩調子になり、非常に雰囲気が悪くなったことがあったそうだ
その時ある人が、皆が知っている当時の流行歌を歌ったら、皆が歌い出して場が和やかになった・・・とされている。
今は海外ではあまり歌われていない印象がある。
台北でもマカオもデービスでも歌われていなかった。

古山会長：

・ロータリアンになってやはりよかったなあ・・・と充実感を感じる時はどのような時ですか？

志熊さん：

・やはり、我々一人一人の力が世界を変えていく力になると感じられること。こちらのもう一つの資料、2020年7月の日経新聞。

これはWHOへの寄付額の一覧。

国際ロータリーが日本よりも多い。皆さんご存知の様にポリオ寄付において、ビルゲイツ氏が我々の倍の寄付金を出していることもあるが・・・ロータリーが、ポリオ撲滅ということに向けて一生懸命頑張っている証拠。
今、残すところ常在国数は2ヶ国のみ。
もう少しだということ頑張れる。目指せるゴールが見えている。

・もう一つその下の写真は、皆さんご存知のケンタッキーフライドチキンのカーネルサンダース氏。
カーネルサンダース氏も実はロータリアン。
皆さんケンタッキーに行ったら見て頂きたい。
人形の襟元にロータリーのバッジがついている。
私のいたずらで付けたわけではない。
先ほど言いましたように、もし私がロータリーバッジをつけて、カーネルサンダー氏の所属するクラブに行けば、当然カーネルサンダース氏とも握手ができる。
そういうことができるのはロータリークラブしかない、自分の世界を広げるには一番適していると思う。

・例えば今度の地区大会で公演される千玄室氏も、普段絶対お会いできない方。
そのような方々とお会いできるというのは、やはり非常に大きな糧になると思う。
ぜひいろんな方々とお会いしてください。

吉田会長エレクト：

会員増強、倍増計画を考えているが、ロータリアンを増やすためのポイントをお聞かせ下さい。

志熊さん：

非常に難しいお話。ただ私自身は、メンバーとして3名入会させて頂いた。
今回1名の方が会社の都合で退会されたが、2名の方を入会させている。
話をすると興味を持ってくれた人は、非常に素直に食いついてくる。
自分の周りの方に「自分はロータリアンであること」を話されるといいかと思う。
私の所属クラブでは、会員増強を目指して名刺を作った。
アクション55と赤字で書いてある、会員増強のツール。
参加した会議等で皆さんに配っている。
入会を誘うのに良い人がいたな・・・と思ったら、会社の名刺では自分がロータリアンであることが分からない。
この名刺なら倶楽部のホームページのQRコードも載せてある為、非常にわかりやすく、さらにおもしろくクラブ紹介が載せてある。
この名刺を愛用している。
ただ、正直なところ、会員増強は、なかなかうまくはいかない・・・

古山会長：

ありがとうございました。

志熊さんがおっしゃったように、会員増強の鍵はやはり一人一人が充実した活動を通して、ロータリーを楽しんでい

るという姿を、周りの方々に見せることが一番良いかと思う。

ぜひ皆様、地域の活動も視野に入れて、自分に合っていると思うことに積極的に参加することを検討していただければと思う。

志熊さん、今日は本当にどうもありがとうございました。

13. 今後の予定 古山 真紀子 会長

・今後の予定でプログラムに記載のもの以外を紹介する。

5月20日 来週、お茶の水にメイクアップに伺う予定。

吉田会長エレクト・光行幹事エレクトが参加予定。

ほかにも皆様ご興味あれば是非一緒しましょう。

6月3日の夜、金曜日に懇親会を予定。

時間を空けておいてください。

楽しみにしててください。

6月12日 土曜日。一度、講談の卓話をしてくださった池

袋ロータリーの会長、小泉さんが名取になられた。

正式な発表会を開催されるとのお知らせを戴いた。

私は伺う予定。場所は日本橋。

よろしかったら一緒しましょう。

5月25日 第100回記念例会	ゲストウエルカムデー 12:00～13:30 卓話: ソーシャルコモンズ代表 竹本治氏
5月31日 地区大会	ホテルニューオータニ
6月8日 第101回例会	通常例会 卓話: 東京後楽 RC 会員 (株)トベ商事 代表取締役 戸部昇氏

14. 閉会点鐘 古山 真紀子 会長

15. 写真撮影

創立日: 2017年7月24日 認証日: 2018年2月26日 認証式: 2018年5月28日 事務局: 東京千代田区丸の内2-3-2 郵船ビル 1F TEL: +81 3-5533-8846 E-mail: marunouchi-rc@outlook.jp(事務局: 桑原奈知子) URL: https://www.tokyomarinouchi-rc.com/	例会日: 第1・第3 水曜日 12時00分 - 13時00分 例会場: 東京千代田区丸の内2-1-1 明治生命館 B1F センチュリーコート丸の内 (covid-19の期間中はオンライン例会の可能性あり) 会長: 古山真紀子 幹事: 鷺澤充代
---	---